

インドネシア債券ファンド

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第78期（決算日2018年11月8日） 第79期（決算日2018年12月10日） 第80期（決算日2019年1月8日）
第81期（決算日2019年2月8日） 第82期（決算日2019年3月8日） 第83期（決算日2019年4月8日）

作成対象期間（2018年10月10日～2019年4月8日）

第83期末（2019年4月8日）	
基準価額	7,227円
純資産総額	361百万円
第78期～第83期	
騰落率	14.3%
分配金（税込み）合計	300円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インドネシア債券ファンド」は、2019年4月8日に第83期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、インドネシアの債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

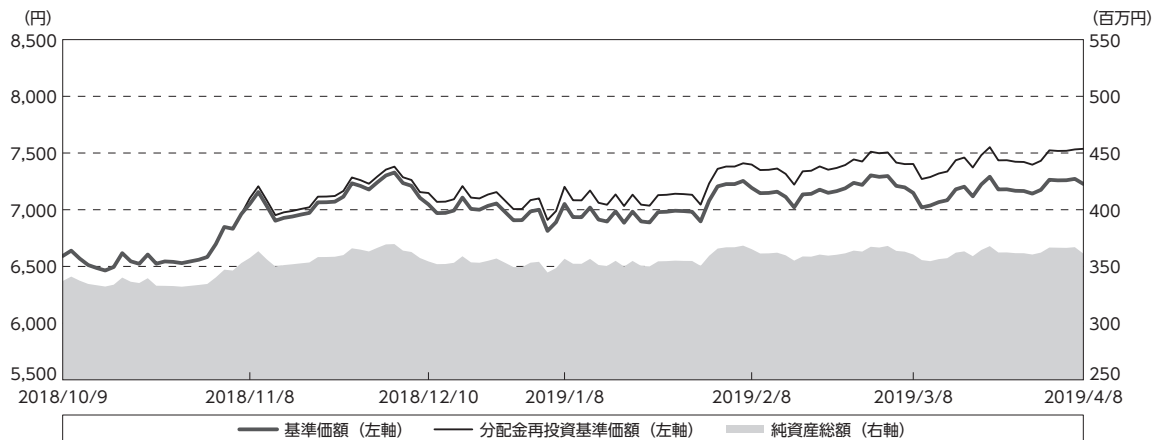
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年10月10日～2019年4月8日)



第78期首：6,592円

第83期末：7,227円 (既払分配金 (税込み)：300円)

騰落率：14.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2018年10月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドネシアの債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。
- ・米国連邦準備制度理事会 (F R B) の利上げ打ち止め観測が強まったことを契機として、債券利回りが低下基調 (債券価格は上昇) となったこと。
- ・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国株式市場の急落を受けて市場のリスク回避姿勢が強まり、相対的にリスクが高いとみられる新興国資産全般への投資が見送られたこと（期間の初め～2018年10月中旬）。
- ・投資家のリスク資産への投資意欲が高まったことで、インドネシア債券よりもインドネシア株式が選好されたこと（2019年1月）。

1万口当たりの費用明細

(2018年10月10日～2019年4月8日)

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	54	0.771	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(23)	(0.321)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(30)	(0.428)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(2)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	17	0.237	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.063)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(3)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(9)	(0.124)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	71	1.008	
作成期間の平均基準価額は、7,009円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

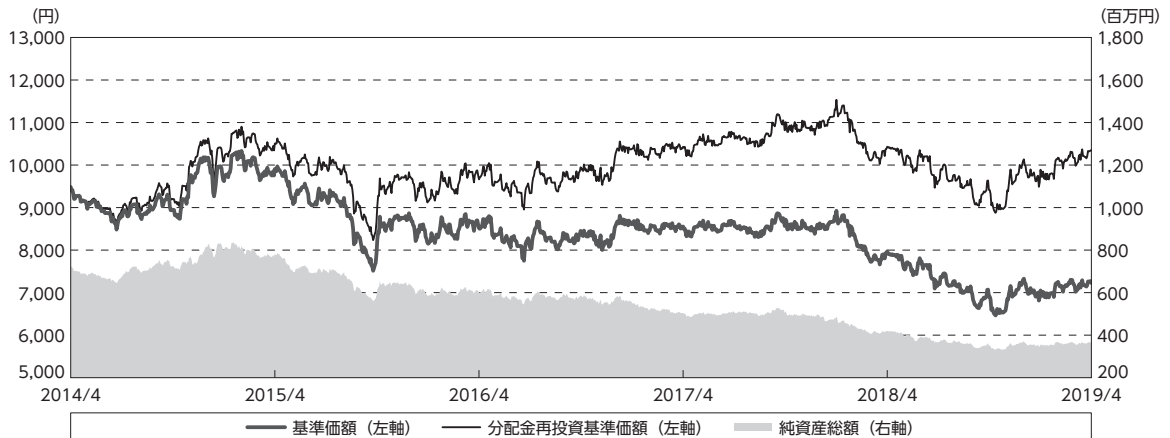
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年4月8日～2019年4月8日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年4月8日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年4月8日 決算日	2015年4月8日 決算日	2016年4月8日 決算日	2017年4月10日 決算日	2018年4月9日 決算日	2019年4月8日 決算日
基準価額 (円)	9,484	9,855	8,501	8,489	7,915	7,227
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	600	600	600	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.8	△ 7.6	7.3	0.1	△ 0.7
純資産総額 (百万円)	725	776	599	500	417	361

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2018年10月10日～2019年4月8日)

(債券市況)

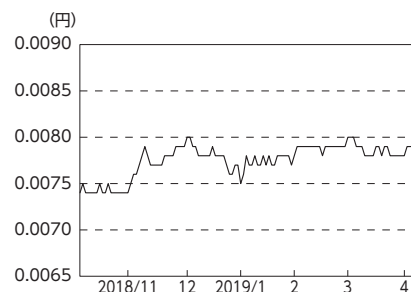
2018年のインドネシア経済は、主要市場向けの輸出の落ち込みはあったものの、2013年以降で最も高い成長となりました。政府支出や投資が鈍化しましたが、国内消費の加速が経済成長の主なけん引役となりました。期間の初め、インドネシアの中央銀行は、貿易赤字の削減などへの注力を目的として、それまでの金融引き締め政策を継続しました。2018年末にF R Bは、金融政策について慎重な姿勢に転じ、追加利上げを当面見送る可能性を示唆しました。それ以降、インドネシア中央銀行は相対的にタカ派的な姿勢を維持しつつも、政策金利を据え置きました。F R Bがハト派的な姿勢に転換したことを受けてリスク資産が大きく上昇しました。また、米中間の通商協議の進展を受けて、米国大統領が中国からの輸入品の関税引き上げの時期を延期するに至ったことで、良好な市場心理がさらに下支えされました。加えて、期間中のインドネシアの消費者物価指数（C P I）は低水準で安定的に推移しました。また、2019年4月中旬に予定されている大統領選挙に向けた選挙運動が本格化するなか、2019年に入って国内政治に市場の注目が集まりましたが、世論調査では全般的に現職大統領への高い支持率が継続していることもあり、市場のリスクプレミアムは低水準を維持しました。

期間中のインドネシア債券とインドネシアルピアは、市場のリスク資産への投資意欲が回復するなか、総じて堅調な推移となりました。特にF R Bの金融政策の転換は、インドネシア債券に代表される高利回り債券市場の追い風となりました。また、インドネシアの中央銀行による金融市場の安定をめざした金融政策によって、新興国市場全般の投資リスクが後退したことで、本国通貨の下落圧力が回避されることとなりました。

(為替市況)

期間中におけるインドネシアルピアは、対円で右記の推移となりました。

円／インドネシアルピアの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2018年10月10日～2019年4月8日)

(当ファンド)

当ファンドは、「インドネシア債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(インドネシア債券マザーファンド)

期間中の当ファンドのデュレーション（金利感応度）は、市場心理のリスク資産全般への投資意欲の高まりなどを背景に、強気のスタンスを継続しました。ポートフォリオは、2018年末にかけてF R Bが金融政策をハト派的な方向に転換したことなどを受けて、インドネシア国債の上昇の恩恵を享受することができました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年10月10日～2019年4月8日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年10月10日～2019年4月8日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年10月10日 ～2018年11月8日	2018年11月9日 ～2018年12月10日	2018年12月11日 ～2019年1月8日	2019年1月9日 ～2019年2月8日	2019年2月9日 ～2019年3月8日	2019年3月9日 ～2019年4月8日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.704%	0.705%	0.704%	0.690%	0.695%	0.687%
当期の収益	31	28	26	32	21	32
当期の収益以外	18	21	23	17	28	17
翌期繰越分配対象額	985	963	940	922	894	877

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インドネシア債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(インドネシア債券マザーファンド)

インドネシアの中央銀行が2018年に累計で1.75%の利上げを行なった影響が経済全体に及ぶなか、2019年のインドネシア経済は減速が見込まれます。加えて、一部の投資プロジェクトの延期・中止は今後の国内投資が鈍化する可能性を示唆しています。こうした要因はあるものの、当ファンドではインドネシアの景気は底堅さを維持すると予想しています。インフレの安定を維持するための政策や家計に的を絞った支援策とともに、4月に予定されている大統領選挙前の選挙関連の支出は、個人消費を下支えするとみられます。

また、インドネシアの中央銀行による予防的な利上げにより、インドネシアのインフレは十分に収束した状態が続く、かつ、管理可能な水準にとどまるとみられます。こうした環境下、当ファンドの基本シナリオでは、新興国通貨がさらに売り込まれなければ、インドネシアの中央銀行は2019年を通じて

政策金利を据え置くと考えています。

F R B がより辛抱強い金融政策を採り、利上げペースを鈍化する方向に傾いたことは、アジア地域の債券需要が十分に下支えされることを意味します。こうしたなか、当ファンドではインドネシア債券に代表される利回り水準の高い債券を有望視しています。比較的安定したインフレ率や金融安定化への注力続ける中央銀行も、当ファンドのこのような見方をさらに後押ししています。

引き続き、主として、インドネシアの債券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2018年10月10日から2019年4月8日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

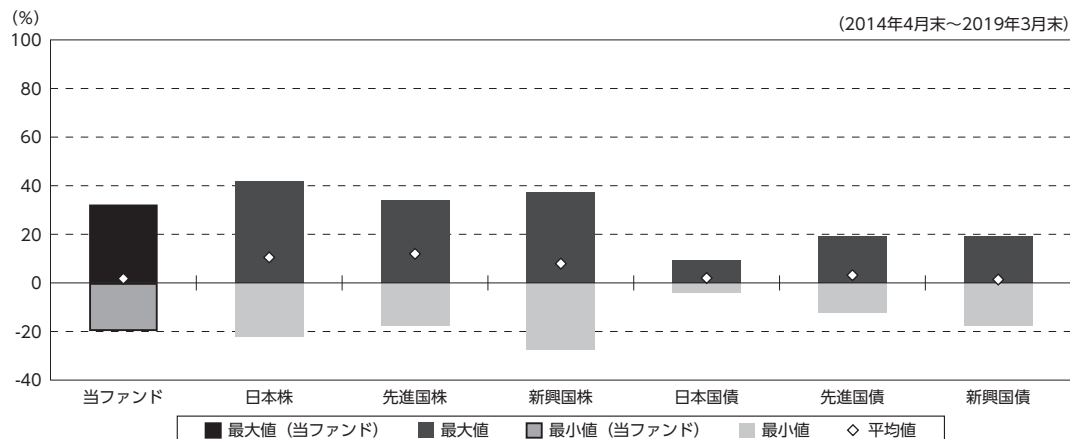
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年12月29日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月24日から2022年4月8日までです。
運用方針	主として「インドネシア債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドネシア債券ファンド 「インドネシア債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インドネシア債券マザーファンド インドネシアの債券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、インドネシアの現地通貨建て国債、政府機関債、政府保証債、準政府債および国際機関債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、インドネシアの企業が発行する現地通貨建て債券に投資することがあります。ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準、金利動向および流動性などを重視し、リスク分散を考慮しながら銘柄選定を行ないます。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行うことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	32.3	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△19.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	1.8	10.5	12.0	7.9	2.0	3.2	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年4月から2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年4月8日現在)

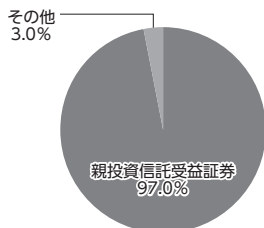
○組入上位ファンド

銘柄名	第83期末
インドネシア債券マザーファンド	97.0%
組入銘柄数	1銘柄

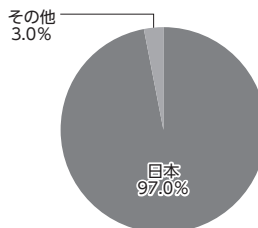
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

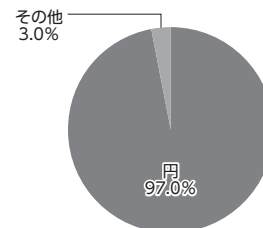
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	2018年11月8日	2018年12月10日	2019年1月8日	2019年2月8日	2019年3月8日	2019年4月8日
純資産総額	357,521,219円	354,415,490円	356,765,287円	365,238,299円	360,531,732円	361,273,642円
受益権総口数	506,958,961口	502,924,128口	505,976,301口	507,737,949口	504,414,837口	499,925,946口
1万口当たり基準価額	7,052円	7,047円	7,051円	7,193円	7,148円	7,227円

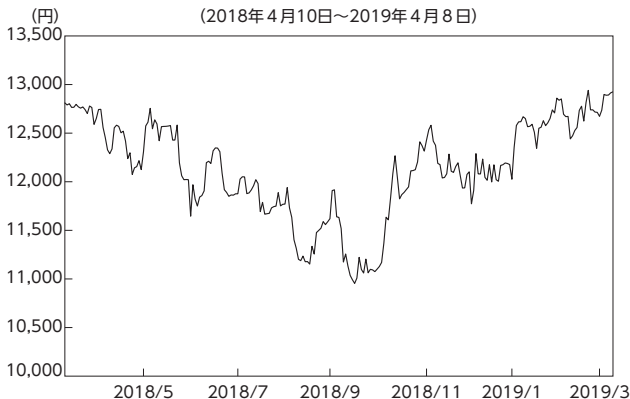
(注) 当作成期間（第78期～第83期）中における追加設定元本額は22,863,849円、同解約元本額は34,332,504円です。

組入上位ファンドの概要

インドネシア債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年4月10日～2019年4月8日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年4月10日～2019年4月8日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	48	0.394
(保 管 費)	(16)	(0.134)
(そ の 他)	(31)	(0.260)
合 計	48	0.394

期中の平均基準価額は、12,074円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年4月8日現在)

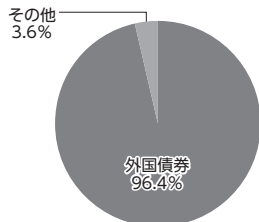
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	INDONESIA GOVERNMENT 5.625% 2023/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	23.6
2	INDONESIA GOVERNMENT 9% 2029/3/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	9.8
3	INDONESIA GOVERNMENT 8.75% 2031/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	9.6
4	INDONESIA GOVERNMENT 8.25% 2032/6/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	8.3
5	INDONESIA GOVERNMENT 6.125% 2028/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	7.2
6	INDONESIA GOVERNMENT 8.375% 2026/9/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	7.1
7	INDONESIA GOVERNMENT 6.625% 2033/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	6.0
8	INDONESIA GOVERNMENT 8.125% 2024/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	4.7
9	INDONESIA GOVERNMENT 8.375% 2039/4/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	4.6
10	INDONESIA GOVERNMENT 7.5% 2038/5/15	国債証券	インドネシアルピア	インドネシア	4.3
	組入銘柄数			15銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

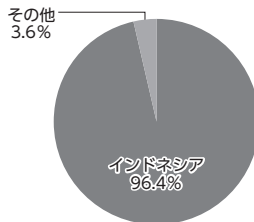
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

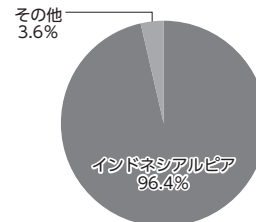
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。